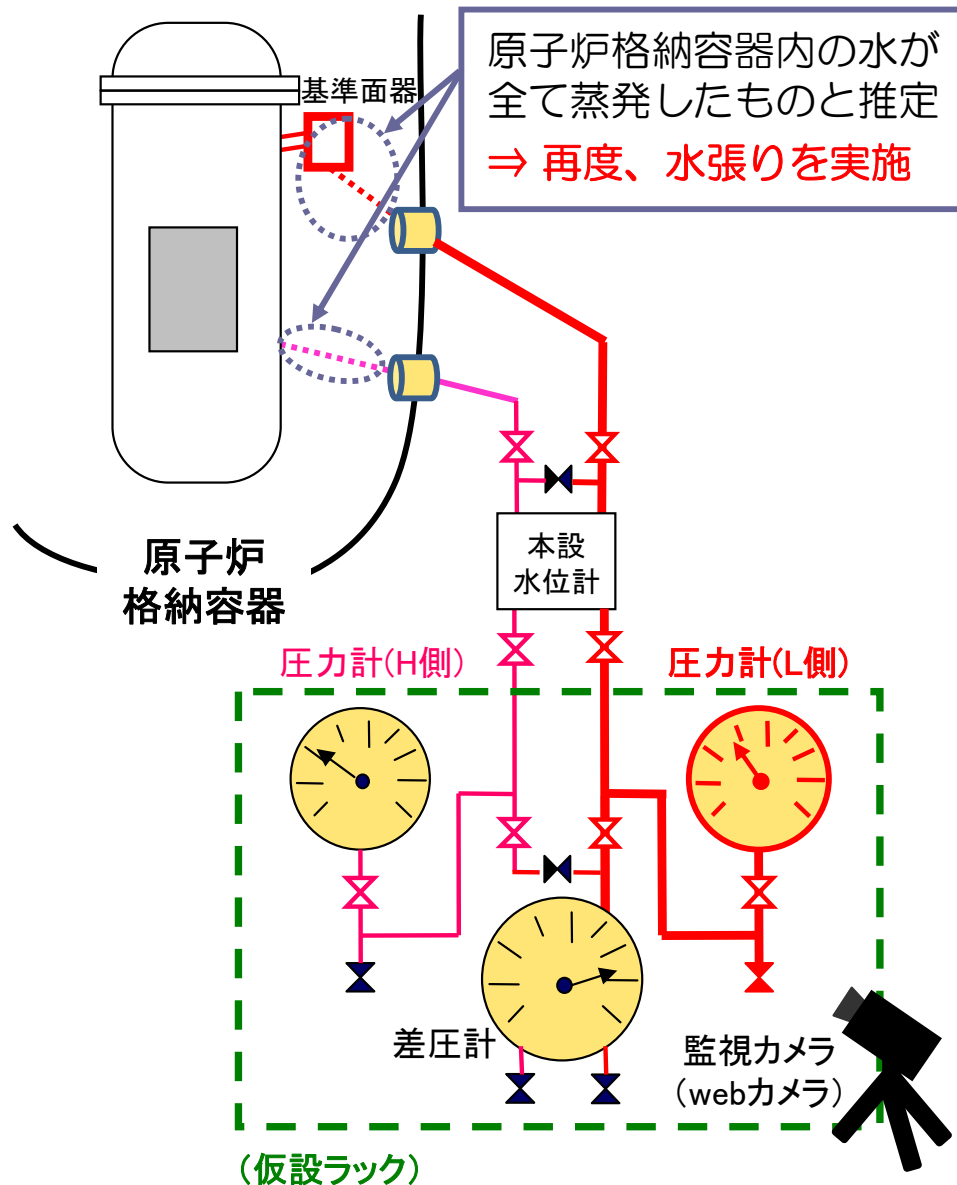


福島第一原子力発電所2号機 原子炉水位計の水張り作業について



■過去の経緯（6月22日～24日）

- ・本設原子炉水位計に仮設計器（仮設ラック内計器）を設置し、計測用配管を水張り。
- ・水張り後原子炉格納容器内計測用配管中の水が蒸発したと思われる挙動を示した。
- ・計測用配管の雰囲気温度が飽和温度以上であったことから蒸発したものと推定。

■今回（10月21日）

- ・原子炉格納容器温度が低下傾向を継続しており現在約85℃なったことから、計測用配管水張りを行い、**原子炉水位計測の計測機能回復**を試みる。